

# study

## 長柄運河跡に 今も水は流れている

淀川改良工事で出た土砂を運ぶために、新淀川の左岸沿いに開削されたのが長柄（中津）運河です。完成は明治35年（1902）。

昭和44年（1969）～46年（1971）、運河は埋め立てられました。地下にコンクリートの箱型水路がつくられ、現在も水は流れているのです。

### 長柄運河に架かっていた橋

眼鏡橋

（長柄東3丁目3河川公園内）  
大正3年（1914）架設。高欄は補修されていますが、当時のままのデザインです。



豊崎一之橋

（本庄東3丁目）  
今は堤防に上がるための橋として使われています。

## Start

### 1 国分寺

「国分寺」とは、聖武天皇が741年に国ごとに建立を命じた寺院のこと。もともと660年ごろに建立されていた「長柄寺」が、聖武天皇の命を受けて「国分寺」と称するようになったといわれています。現在の寺院は昭和40年（1965）に再建されたもの。朱色の鐘楼では、1人1回、鐘を打つことができます。

◆住所：国分寺1丁目6の18



### 2 鶴満寺

創建は奈良時代といわれていますが、現在地に完成したのは宝暦3年（1753）。桜の名所として有名で落語にもなっています。高麗時代の朝鮮銅鐘（国の重要文化財）と慈覚大師の阿弥陀如来（府指定文化財）で有名。大岡越前守が寄進した石灯籠や俳人・上島鬼貫（かみじまおにつら）の墓碑、献体第1号の奥宮銀三郎の墓などもあります。

八角形楼閣造りの観音堂が目印。

◆住所：長柄東1丁目3の12

